

■基本目標1 若年層が選びやすい環境をつくる

	施策名及びKPI項目	基準値	目標値				目指す姿
		R2	R4	R6	R8		
KPI	(1)まちのことを「好きになる」シティプロモーション トヨノPORTALの年間閲覧件数（件）	90,858					町のことを好きになってもらうためには、まず町のことを知ってもらうことが必要です。町の公認レポーターが町の魅力（人・場所・景色・季節など）を発信しているトヨノPORTALの閲覧件数の増加を目指します。
	(2)若い人が「住みたくなる」移住促進 空き家バンクの新規登録件数（件）	9					町内には約1000戸の空き家（H30住宅統計調査）がありますが、流通市場に出てこないのが課題です。空き家が抱える問題（相続、倉庫化、気持ちの整理など）を解決し、流通させる（転入を増やす）ことを目指します。
	(3)快適で住みやすい環境の整備 阪急バス豊能西線の年間利用者数（人）〔IC乗車のみ〕	176,696					町が補助金を投入しても利用者が少なければ公共交通の維持は困難です。持続可能なバス路線とするために、魅力あるまちづくりと利便性の向上一体的に取り組み、利用者数の増加を目指します。

■基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる

	施策名及びKPI項目	基準値	目標値				目指す姿
		R2	R4	R6	R8		
KPI	(1)地域とともにある魅力ある教育 地域の意見が学校運営に反映された回数（回）	0					地域とともにある学校づくりを進めるため、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）に取り組みます。子どもたちの健全育成を地域が主体となり、学校と連携しながら行っていくためにも、地域との積極的な連携を目指します。
	(2)安心できる出産と子育て環境 待機児童数（人）	0					待機児童に対する不安を無くすことで、出産しても仕事を続けられるという安心感と、出産や出産後の転入をし易い環境を提供することを目指します。
	(3)子育て家庭へのサポート 子育て支援センターを利用した年間実人数（人）	45					子育てに関する相談の場やサロンを提供し、育児に対する不安を解消したり、就園前に知り合いを作る機会を充実させたりすることで、子どもを育てやすい環境を作ることを目指します。

■基本目標3 地域の資源をしごととお金にかえる

	項目	基準値	目標値				目指す姿
		R2	R4	R6	R8		
KPI	(1)賑わいを呼ぶ沿道整備 沿道に新規出店した店舗数（件）	1					東西の融合による多様性・創造性で未来が輝くためには、東地区の活性化が欠かせません。規制を緩和しつつも景観に配慮した「新しい豊能町らしさ」として沿道（特に国道423号沿い）の賑わいづくりを目指します。
	(2)地域でお金が回る仕組みづくり 特産品を使用した新規商品（とよのブランド）の開発数（商品）	0					町の資源やイメージキャラクターとよのんを戦略的にブランディングし、商品価値を向上させた新しい魅力を作ることで、生産者の満足や収入の増加と、ふるさと納税による収入増加を目指します。
	(3)「とよのブランド」でまちを元気に 新規就農者数（人）	3					高齢化による後継者不足により耕作放棄地が増加してきています。町の基幹産業である農業の維持と、町の魅力として6次産業化や景観の維持を図るためにも、新規就農者、特に若い世代の就農者育成を目指します。

■基本目標4 避けることができない未来にそなえる

	項目	基準値	目標値				目指す姿
		R2	R4	R6	R8		
KPI	(1)いつでも生きがいを持てる健康寿命延伸 シルバー人材センターの登録会員数（人）	129					元気な高齢者が多いことが町の特徴ですが、町内には事業所が少なく、高齢者が就労できる場所は限られています。自分のスキルを活かし活躍することができる場であるシルバー人材センターの会員登録数増加を目指します。
	(2)快適で住みやすい環境の整備 豊能アプリ（自治体版スマートシティアプリ）のダウンロード数（人）	0					2025年に向けて取り組んでいるコンパクトスマートシティの実現には、住民に利用してもらうことが重要です。すべてのサービスの起点となる本アプリを最終的には全町民が利用することを目指します。
	(3)地域のつながりを活かしたコミュニティの活性化 地域づくりに関する学びの場の年間開催回数（回）	0					持続可能な地域社会の創出に向けて、課題解決を支援する「中間支援組織」の設立を目指しています。その最初の取り組みとして、町のことを真剣に考える人たちが集える場を提供し、交流と学びを実践してもらうことを目指します。